

- 問1 2000年時点の日本、アメリカ合衆国、イギリスにおける発電電力量の構成を比較したとき、自国に豊富な資源を持つ背景から、これら三カ国の中で発電に占める石炭の割合が最も高かった国を選びなさい。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. イギリス 2. フランス 3. 日本 4. アメリカ合衆国
- 問2 アメリカ合衆国の人口構成を分析した資料によると、特定の州において「ヒスパニック系」と呼ばれる人々の割合が20%を超えています。この人々の背景や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. ヨーロッパからの初期の移民の子孫であり、五大湖周辺の工業地帯を支えてきた。 2. アフリカをルーツに持つ人々であり、歴史的に南東部の農業地帯に定住している。 3. メキシコや中南米諸国からの移住者とその子孫であり、スペイン語を話す人々が多い。 4. アジア諸国からの移住者であり、主に西海岸の都市部のIT産業に従事している。
- 問3 アメリカ合衆国がとうもろこしなどの農産物を大量に生産し、世界市場へ輸出できる背景には、広大な国土を活かした農業経営の特徴があります。その特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業 2. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに栽培場所を移動する移動式焼畑農業 3. 季節ごとに異なる作物を同じ土地で交互に栽培し、地力の消耗を抑える三圃式農業 4. 限られた土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大化する集約的な農業
- 問4 世界の資源・エネルギー問題において、ある国の生活水準やエネルギーの使用効率をより多角的に把握するために、国全体の「原油消費量」をその国の「人口」で割って算出される指標の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. エネルギー自給率 2. 単位GDP当たりのエネルギー消費量 3. 一人当たりの原油消費量 4. 原油輸入依存度
- 問5 アメリカ合衆国の人口構成の変化とその背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。近年の統計では、メキシコが最大の移民送り出し国となっており、それ以外にもアジア諸国やカリブ海諸国からの流入が目立っています。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 北方の隣国であるカナダからの労働者が製造業の現場を支えており、北米自由貿易圏の形成を背景に人口移動が固定化されている。 2. メキシコや中南米、さらにはアジア系移民の増加により、国内でスペイン語が広く使われるなど、多様な文化が共存する社会となっている。 3. かつての奴隷貿易によるアフリカ系の人々の流入が現在の人口増加の主因であり、移民による構成の変化は限定的である。 4. 移民のほとんどがヨーロッパ出身者で占められていた19世紀以前の状態に戻りつつあり、宗教や言語の多様性は失われつつある。
- 問6 アメリカ合衆国の北アメリカ州における農業と輸送の関係について述べた次の文のうち、ミシシッピ川の役割を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 内陸部で生産された農作物を、大型トラックを用いて太平洋沿岸の港へ運ぶための主要な輸送経路となっている。 2. 西部の乾燥地帯で収穫された農作物を、メキシコ国内の市場へ直接届けるための運河として機能している。 3. 内陸部で生産された農作物を、運搬船(バージ)によって河口付近の港まで大量に運ぶルートとして利用されている。 4. 五大湖周辺で生産された農作物を、カナダを経由して北極海へ輸出するための唯一の水路となっている。
- 問7 都市の土地利用において、郊外に見られる一般的な特徴を説明したものとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 利便性が最も高いため、官公庁や企業の中心的なオフィスが狭い範囲に集中している 2. 人口密度が非常に高く、限られた土地を有効に使うために住宅が密集して建てられている 3. 地価が比較的安いため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい 4. 土地の価格が極めて高いため、高層ビルや地下街を建設して土地を高度に利用している
- 問8 アメリカ合衆国の産業構造の変化について述べた次の文のうち、北緯37度以南の地域(サンベルト)の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 五大湖周辺の豊富な石炭や鉄鉱石を利用して、鉄鋼業や自動車工業などの伝統的な重工業が発展している。 2. ヒューストンの宇宙センターに象徴されるような、航空宇宙産業や電子工業などの先端技術産業が発展している。 3. 冷涼な気候を利用して、小麦の栽培や乳牛の飼育を行う酪農が盛んに行われている。 4. ミシシッピ川下流域を中心に、現在も綿花栽培のみに依存するモノカルチャー経済が続いている。
- 問9 アメリカ合衆国において、1970年代以降に工業の中心が北東部から南部に移り、北緯37度付近より南の地域で先端技術産業が急速に発展しました。この地域の呼称として適切なものを次から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. プレーリー 2. スノーベルト 3. サンベルト 4. シリコンアイランド
- 問10 情報化の進展に伴う各国の高校生の生活習慣の国際比較について、アメリカ合衆国のインターネット利用状況と人間関係の傾向を述べた文として正しいものを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 1日の利用時間が4時間以上の層は一定数存在するが、ネット上のみで会ったことのない友人が50人以上いる生徒は全体の1%未満である。 2. 4時間以上利用する生徒の割合が3割を超え、ネット上のみで知り合いが50人以上いる割合も他国と比較して高い傾向にある。 3. インターネットの利用時間は他国に比べて極めて短いが、ネット上のみの友人数は他国を圧倒して多い。 4. 利用時間は日本と同程度であるが、インターネット上の友人の数は4か国中で最も少なく、対面での関係を重視している。
- 問11 アメリカ合衆国における移民の出身地域は、時代とともに大きく変化しています。1960年の統計ではヨーロッパ州からの移民が過半数を占めていましたが、2020年の統計ではその割合が激減し、代わって出身地域別人口割合で最も高い比率を占めるようになった地域はどこですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. アフリカ州 2. 東ヨーロッパ地域 3. 南北アメリカ州 4. オセアニア州
- 問12 アメリカ合衆国で「適地適作」という農業方式が発達した背景と、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 広大な国土の中で、地形や気候などの自然環境に合わせて農作物を分けることで、生産効率を高めている。 2. 自然環境による制限を克服するため、全土で同じ灌漑設備を導入し、土地の条件を無視した栽培を行っている。 3. どの地域でも同じ農作物を均一に栽培することで、国内の食料自給率を安定させることを目的としている。 4. 都市近郊でのみ農業を行うことで、輸送コストを抑える地産地消の考え方を最優先している。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、アパラチア山脈周辺などで石炭が豊富に採掘されるため、2000年時点では発電電力量の約半分を石炭火力発電に依存していました。一方、日本は石炭、天然ガス、原子力を組み合わせており、イギリスでは北海油田の天然ガスを利用した発電への転換が進んでいたため、アメリカ合衆国が最も高い割合となっていました。
問2	答え 3 メキシコや中南米諸国からの移住者とその子孫であり、スペイン語を話す人々が多い。	ヒスパニック系は、メキシコやカリブ海諸国を含む中南米地域からの移住者、およびその子孫を指す呼称です。彼らはスペイン語を母国語とする傾向があり、地理的に近いメキシコ国境沿いの南部や西部の州（テキサス州やカリフォルニア州など）で、特に人口比率が高くなっています。近年のアメリカにおいて、最も人口増加が著しいグループの一つです。
問3	答え 1 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業	アメリカ合衆国の農業は、各地域の気候や土壌に適した作物を栽培する「適地適作」が行われていることが大きな特徴です。特に、一戸あたりの耕地面積が非常に広く、航空機による農薬散布や大型トラクターなどの高度な機械化が進んでおり、これを「企業的な農業」と呼びます。この高い生産効率が、世界市場への大量輸出を可能にする要因となっています。
問4	答え 3 一人当たりの原油消費量	国全体の総消費量だけでは、その国がどれだけ効率的にエネルギーを使っているか、あるいは国民がどれほどエネルギーを消費する生活を送っているかを正確に比較できません。人口規模が異なる国同士を比較する場合、一人当たりの消費量を算出することで、個人の生活レベルでの資源依存度を浮き彫りにすることができます。
問5	答え 2 メキシコや中南米、さらにはアジア系移民の増加により、国内でスペイン語が広く使われるなど、多様な文化が共存する社会となっている。	アメリカ合衆国では、1960年代の移民法改正以降、ヨーロッパ以外からの移民が急増しました。特にメキシコを中心とした中南米からの移民（ヒスパニック）や、経済成長を背景としたアジア系移民の流入が続いています。これにより、看板や放送にスペイン語が併記されるなど、社会の多層化が進んでいるのが現代のアメリカの特徴です。
問6	答え 3 内陸部で生産された農作物を、運搬船（バージ）によって河口付近の港まで大量に運ぶルートとして利用されている。	アメリカの農業統計では、とうもろこしの輸出積み出し場所としてミシシッピ川河口の港が59%という高い割合を示しています。これは、内陸部の生産地からミシシッピ川を通して河口へ向かう輸送ルートが確立されているためです。このルートでは運搬船（バージ）が輸送手段の5割以上を占めており、大量の穀物を効率よく港へ集約する重要な役割を担っています。
問7	答え 3 地価が比較的安いいため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい	都市の構造において、中心部から離れるほど地価は下がる傾向にあります。そのため郊外では、都心では確保が難しい広い敷地を利用できるようになります。具体的には、大型ショッピングセンター、大規模な工場、ゆとりある敷地を持つ住宅地などが立地しやすくなるのが、郊外の土地利用の大きな特徴です。
問8	答え 2 ヒューストンの宇宙センターに象徴されるような、航空宇宙産業や電子工業などの先端技術産業が発展している。	アメリカの工業の中心は、かつては北東部の五大湖周辺（スノーベルト）でしたが、1970年代以降は南部の「サンベルト」へと移りました。サンベルトではテキサス州ヒューストンのNASA宇宙センターや、カリフォルニア州のシリコンバレーなどの拠点を中心に、先端技術産業が成長しました。北東部の重工業地帯は、現在では「ラストベルト（さびついた工業地帯）」と呼ばれる衰退を見せていることとの対比が重要です。
問9	答え 3 サンベルト	アメリカ合衆国の北緯37度以南の地域は、温暖な気候や広大な土地、安価な労働力を背景に、航空宇宙産業や情報技術（ICT）産業などの先端技術産業が成長しました。日照時間が長い地域であることから、太陽を意味する言葉が含まれたこの名称で呼ばれています。
問10	答え 2 4時間以上利用する生徒の割合が3割を超え、ネット上のみの知り合いが50人以上いる割合も他国と比較して高い傾向にある。	アメリカ合衆国では、デジタルネイティブ世代の生活においてインターネットが深く浸透しています。統計データに基づく、1日のインターネット利用時間が4時間を超える生徒の割合は、日本、中国、韓国といったアジア諸国と比較しても高い水準にあります。さらに、物理的に会ったことのない相手ともインターネットを通じて積極的に人間関係を構築しており、50人以上のネット上の友人を持つ生徒が2割を超えるなど、他国とは異なるコミュニケーションの広がりが見られるのが特徴です。
問11	答え 3 南北アメリカ州	アメリカ合衆国の移民構成は、20世紀半ばまではヨーロッパ出身者が中心でしたが、1960年代以降の法改正や地理的な近接性を背景に、メキシコや中南米諸国を含む南北アメリカ州からの移民が急増しました。これに伴い、スペイン語を話すヒスパニック（ラテン系）の人々が社会の中で大きな存在感を持つようになり、多文化社会としてのアメリカを象徴する変化となっています。
問12	答え 1 広大な国土の中で、地形や気候などの自然環境に合わせて農作物を分けることで、生産効率を高めている。	アメリカ合衆国の農業は、大型機械や航空機を用いた大規模な経営が特徴です。これほど大規模な生産を維持するためには、その土地の降水量や気温に最も適した作物（例えば、冷涼な北部は酪農、乾燥気味な地域は小麦、温暖な南部は綿花など）を選択することが、収穫量を最大化し生産コストを下げるために不可欠でした。これが、広大な領土を持つ国ならではの合理的な農業の仕組みです。